



ペインクリニック部門



- ・ペインクリニックって何？
- ・どんな手技・手法が必要？
- ・痛みへの挑戦



ペインクリニックって何？



痛みで困っている人をなんとかしまーす！

1962年東京大学麻酔科学教室にペインクリニック外来が開設されたのが始まりといわれています。

当科は1973年頃ペイン外来開設、今も毎日診療してます。

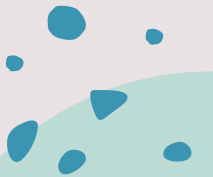
急性痛から慢性疼痛まで、緩和ケア科・他科、近隣医療機関からの依頼にもこたえるよう頑張ってます。



へえー、そうなんだ。

でも、

普通の痛みの治療と何が違うの？



治療方法・手技・手段

まず、すべての**鎮痛薬に精通**することかな。**麻薬も安全に使える**ように。
痛みに関わる補助薬も使います。**漢方薬も有用**ですね。

有害事象にも気を付けてモニタリングが重要です！

インターベンショナル治療も有用です。神経ブロックは局所麻酔薬による一過性のものと、神経破壊を行うものがあります。

根治的ではないものの痛みを減弱、患者さんのQOLに寄与します。

他に椎間板治療や脊髄刺激療法などがあります。



①薬物療法：NSAID・アセトアミノフェン・ガバペンチノイド・オピオイド（弱・強）・

抗うつ薬・抗けいれん薬 など

②神経ブロック：硬膜外・星状神経節・三叉神経（末梢枝・節）・腕神経叢・肩甲上・

肋間・椎間関節枝・神経根・腹腔神経叢・上下腹神経叢・不対神経節など

＊ ＊ ランドマーク法・エコーガイド下・X線透視下



できるかな？



初期トレーニングとアップデートですね
大学で研修して専門医を取得すると
自信がつくと思います。



どんな専門医資格がとれますか？

日本ペインクリニック専門医
日本東洋医学会漢方専門医
日本がん治療認定医機構認定医
などがあげられます。

痛みへの挑戦



痛みの診療も進歩していますが、

痛みは複雑で、前記のような治療の効果が不十分なものがあります。

このような場合は、アプローチを変え、集学的治療が必要になることがあります。

あらゆる面から痛みに関わる因子を探り、治療の方針を立てていくことになります。

最近、痛覚伝達路の痛み分類では、侵害受容性疼痛・神経障害性疼痛のほかに、**痛覚変調性疼痛**が提唱されました。病因的器質的因子・痛覚伝達路・心理社会的因子の修飾が**個別的な痛みを形成**すると考えられます。痛みを診ることは患者という人間を診ることになり、医師としての究極的な診方となると考えます。

一緒に痛み挑戦してみませんか？



そう考えるかあ
やいがいはいそうだが…

